令和８年度　危機管理学部
各種選抜（付属特別，提携校，校友枠，競技部，編入学，転部）

学校推薦型選抜（付属高等学校等）・付属特別選抜

出題意図

多様性配慮を重視することの意義としては，高齢者を中心に発生しやすい災害関連死の防止，主に女性や子供が被害に遭いやすい性犯罪等の被害予防，外国籍の住民らとの間に起こりやすい文化的摩擦等による避難所内での関係悪化の防止などが挙げられます。

多様性に配慮した避難所を実現するために必要なこととしては，ダンボールベッドなどの導入による高齢者の寝起きがしやすい環境の確保，女性スペースや子供スペースなど多様性に配慮した空間の確保，女性用品やおむつなど必要な日用品の提供，ベジタリアンフードなど文化的タブーの影響を受けにくい食事の提供（ハラルフードなどの宗教食の提供などでも可），礼拝場所などの確保が考えられます。これらに加えて，温かい食事の提供や十分な数のトイレの確保など，より一般的な避難所環境の改善についての言及があっても良いです。

これらを組み合わせるなどして 700 字程度にまとめてあるかどうかを評価します。

学校推薦型選抜　提携校

出題意図

社会での出来事に関心を持ちつつ学部での学びについて主体的に調査していることを前提とし，問われた内容について客観的な根拠を示しつつ自説を論理的に展開できるかを問う問題です。

校友枠選抜

出題意図

本学部では「グローバル化した現代社会を取り巻く様々な危機と向き合う」こと，「主体的に行動」することを学部理念の一部に掲げています。本出題は，この学部理念に関わる訪日外国人旅行者の増加と日本が直面する災害リスクという 2 つの現代的な課題に着目した出題です。インバウンドというグローバルな事象と災害というローカルな現象の結節点に関する課題理解および多角的な思考力を総合的に評価することを意図しています。

特に答案作成にあたってまず求められるのは，単に表面的な事実の羅列にとどまらず，言語や文化，制度の違いから生じる具体的な課題（避難情報が理解

できない，避難所の炊き出しが食べられない等）を記述することです。その上で，課題に見合った実現可能な対策について提示する必要があります。これらを通じて，現実的かつ実践的な解決策を導き出す論理的な問題解決能力の素養を備えているかどうかを評価します。

学校推薦型選抜　日本大学競技部

出題意図

競技を行う上で自身の課題を客観的に分析し，その解決に際し，学部での学業に対し目的意識をもって取り組めるかどうかを評価することを目的としました。

模範解答・解答例

論文形式のため解答例はありませんが，以下の観点に基づき評価を行っています。

① 自身のこれまでの競技活動全般を整理できているかどうか
② どのように発展させたいのかについて具体性があるかどうか
③ 科目名が正確で，その内容を把握できているかどうか
④ これらの整合性が取れているかどうか

編入学試験

出題意図

・共通問題

社会での出来事に関心を持ちつつ学部での学びについて主体的に調査していることを前提とし，問われた内容について客観的な根拠を示しつつ自説を論理的に展開できるかを問う問題です。

・選択問題

本学部では，現代社会に潜む多様なリスクを正確に認識し，柔軟かつ適切に対応できる人材の育成を目的としています。本出題の意図は，受験生が複雑化・多様化する現代の「危機」について，幅広い視野と深い理解を有しているかを総合的に評価することにあります。

選択肢である「フェーズフリー」「モンロー主義」「リレー捜査」「能動的サイバー防御」は，いずれも近年の国内外の情勢において重要なキーワードであり，本学部の４つの領域（災害マネジメント，グローバルセキュリティ，パブリックキュリティ，情報セキュリティ）に関係する重要なものです。これらは単なる時事用語ではなく，人命や国家の安定，社会の信頼基盤を直撃する実践的な課題でもあります。

用語の表面的な暗記にとどまらず，事象の背景や発生メカニズム，社会に与える影響を論理的かつ詳細に説明する記述力が求められます。日頃から報道等を通じて社会問題に目を向け，危機管理の観点から主体的に考察する姿勢を備えているかを確認することが本出題の意図となります。

出題意図（語学試験）

Ⅰ

英文の読解力を問う問題です。ある程度の長さ（700 から 800 語程度）の文章を読み，内容理解に関する設問に対して本文に基づき適切な内容の選択肢を選択したり，適切な語（句）や表現を選択したり，内容や指示対象を説明・記述します。出題される素材は外国語として英語を学ぶ学習者にとって適切な水準なものです。

Ⅱ

文法・語法を中心とした知識の理解程度を問う問題です。短文中に含まれる空所に対して，文法や語法の知識に基づき適合する語（句）や表現を選択します。出題される文法項目は，外国語として英語を学ぶ学習者にとって典型的なものです。

Ⅲ

成句表現や語彙の意味の理解程度を問う問題です。短文中に下線で示された表現・語(句)に対して意味的に近似の語(句)を選択する。出題される語彙は，外国語として英語を学ぶ学習者にとって典型的なものです。

Ⅳ

英文を組み立てる能力を問う問題です。短文中で与えられた語群を適切な順に並び替える整序英作文であり，出題される文法項目や語彙は，外国語として英語を学ぶ学習者にとって典型的なものです。

転部（学部間）試験

出題意図

・共通問題

インターネットの使用履歴や電話の通話履歴の取り扱いなど，よく指摘される問題を具体的に指摘できるか。また，安全面での情報の利用が適正な手続きで行われること，異議申し立てが可能なこと，など，透明性や公平な制度運用を担保することの重要性が指摘できているかどうかを問います。

・選択問題

本学部では，現代社会に潜む多様なリスクを正確に認識し，適切に対応できる人材の育成を目的としています。本出題の意図は，受験生が複雑化・多様化

する現代の「危機」について，幅広い視野と深い理解を有しているかを総合的に評価することにあります。

選択肢である「災害関連死」「経済安全保障」「ディープフェイク」「ランサムウエア」は，いずれも近年社会を揺るがしている重大な脅威です。これらは単なる時事用語ではなく，人命や国家の安定，社会の信頼基盤を直撃する実践的な課題です。

用語の表面的な暗記にとどまらず，事象の背景や発生メカニズム，社会に与える影響を論理的かつ詳細に説明する記述力が求められます。日頃から報道等を通じて社会問題に目を向け，危機管理の観点から主体的に考察する姿勢を備えているかを確認することが本出題の意図となります。